

奈良西

ロータリークラブ

便り

25

奈良西ロータリークラブ会長

大濱 正徳さん(79)

ロータリークラブ(RC)には、青少年交換留学生制度がある。これは、国際ロータリーにおける奉仕活動の一つで、高校生を受入れる制度を採っている。このプログラムは1929年に始まり、現在では、他国の文化を経験するのために毎年約9千人も留学生を派の生徒が世界各地に留学

毎年9千人が世界へ

## 青少年交換留学生制度

している。また、ホストとなる家族は留学中の1年間で通常2〜3回変わり、生徒はそれぞれ学校など、その国や家族の中で当たり前前の日常生活を過ごすことが求められている。

奈良西RCでは、昨年派遣した平田和さんが今年の7月18日、ブラジルから元気に帰国。同日、ベルギーからの留学生テオ・バンター・ブレッケンさんが「日本は心の(中に常にある)国となりました。また帰ってきます」との言葉を残し、大勢のクラスメートに見送られながら帰国した。



ブラジルと奈良西のRCバナー旗を交換する留学生のイグネスさんと大濱会長(右)＝奈良市法華寺町の奈良ロイヤルホテル内

入れ変わるように8月20日には、東知宏さんがブラジルへ出発。同日夜にはブラジルからイグネス・デニーズ・ゴメス・モウラさんが関空に到着した。彼女は現在、毎週

例会に出席し、学校にも慣れ、RCの家族親睦移動例会へも参加して元気に日本生活を楽しんでいる。

|| 毎月第3月曜日付掲載 ||